

ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版

取扱説明書

(Version 2.00 Rev.01)

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」はウェブページの表示画面を画像としてキャプチャーし、Nomoad カスタム版（バージョン3.50以降）を使用して表示するためのソフトです。

- 最大5ページまでのウェブページをキャプチャーできます。
- キャプチャー間隔を設定できます。（2秒以上）
- 指定した間隔でウェブページの再読み込みを行うことができます。
- PCの起動後、自動的にウェブページのキャプチャーを開始することができます。
- ウェブページの表示、キャプチャーは「Microsoft Edge WebView2」の機能を使用します。

Nomoad カスタム版へのキャプチャー画像の送信方法は次のような方法があります。

- ファイルを介して画像を送信することができます。ローカルディスクやネットワークストレージを使用して手軽にNomoad/NomoadPRでキャプチャー画像を表示できます。
- サーバー機能（TCP/IP）を使用して画像を送信することができます。ネットワーク上のNomoad/NomoadPRを実行しているPCへ画像を送信できます。

注意 「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を利用して、利用者本人以外が作成した画像、動画、ウェブページなどの著作物を使用して公衆の場所等でプレゼンテーション等を行う場合、著作者等からの許可が必要となる場合があります。その場合、あらかじめ著作者等から許諾を得てください。

目次

動作環境・仕様	3
動作環境	3
主な仕様	3
運用方法	4
ウェブページキャプチャーツールの使用方法	5
ソフトの起動	5
初期設定	6
キャプチャーの選択	7

ページ URL の設定.....	8
キャプチャー画像の保存先の設定.....	9
キャプチャー画像のプレビュー・ウェブページの操作.....	10
キャプチャーサイズ・オプションの設定.....	11
キャプチャー開始.....	13
ファイルを介して画像を受信する.....	14
ファイルを介して受信するための Nomoad/NomoadPR の設定.....	14
ファイルを介して受信するためのリアルタイムデータタグの記述.....	14
サーバーから画像を受信する.....	16
ネットワーク上のサーバーから受信するための Nomoad/NomoadPR の設定.....	16
サーバーから受信するためのリアルタイムデータタグの記述.....	17
リアルタイムデータタグの確認/受信ログの表示.....	21
画面の説明.....	22
メイン画面.....	22
オプションウィンドウ.....	24
設定ウィンドウ.....	25

動作環境・仕様

動作環境

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を使用することができる PC の必要ハードウェア・ソフトウェア環境は次のとおりです。

項目	条件
OS	Microsoft® Windows® 10 (64bit 日本語版・PC用) Microsoft® Windows® 11 (64bit 日本語版・PC用)
CPU	デュアルコア以上のCPU
メモリー	4GB以上
ハードディスク	空き容量 10GB以上
ソフトウェア	WebView2 ランタイム (製品に付属) Microsoft® .NET Framework 4.6.2 (製品に付属)

主な仕様

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」の主な仕様です。

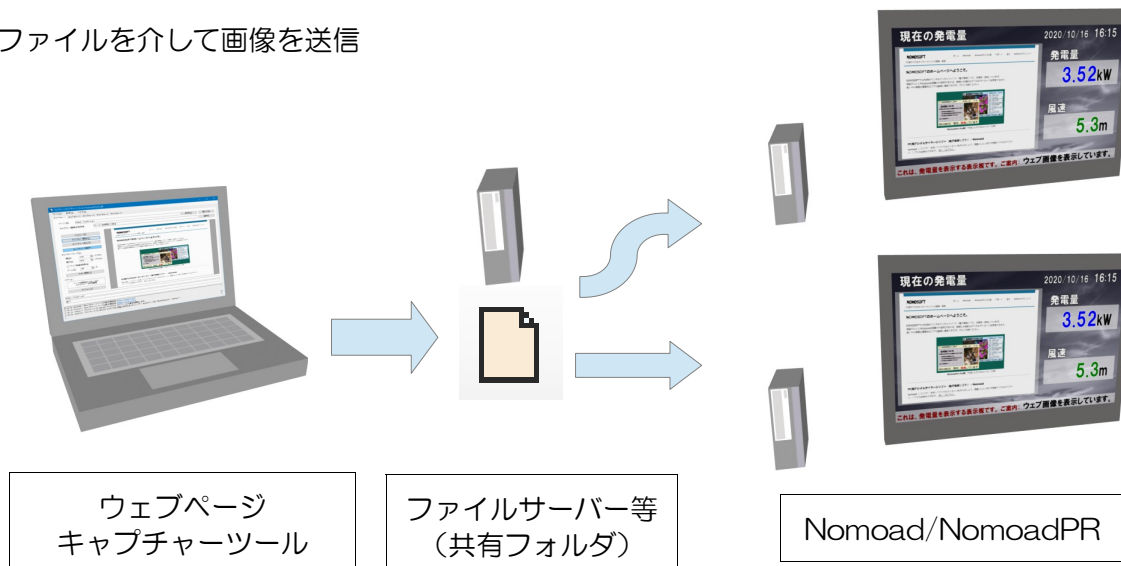
項目	仕様
最大同時キャプチャー数	5ページ
キャプチャー画像の送信方法	画像ファイル (独自形式 [.nadri]) を介した送信、またはサーバー機能を使用した TCP/IP 通信 (最大 100 セッション)
ブラウザ機能	Microsoft Edge WebView2 のブラウザ機能を使用 (インストールされているバージョンの Edge が使用されます) キャプチャー停止時にはブラウザの操作が可能
キャプチャー間隔	2~600 秒の間で設定可能
ウェブページの更新間隔	更新しない、または、5~3600 秒間隔で更新するように設定可能
最大キャプチャー画像サイズ	3200x3200
PC 起動後のキャプチャー自動開始	可能
その他制限	プラグイン等は使用できません

運用方法

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」は、ウェブページの表示画面を画像としてキャプチャし、Nomoad カスタム版（バージョン 3.50 以降）を使用して表示するためのソフトです。

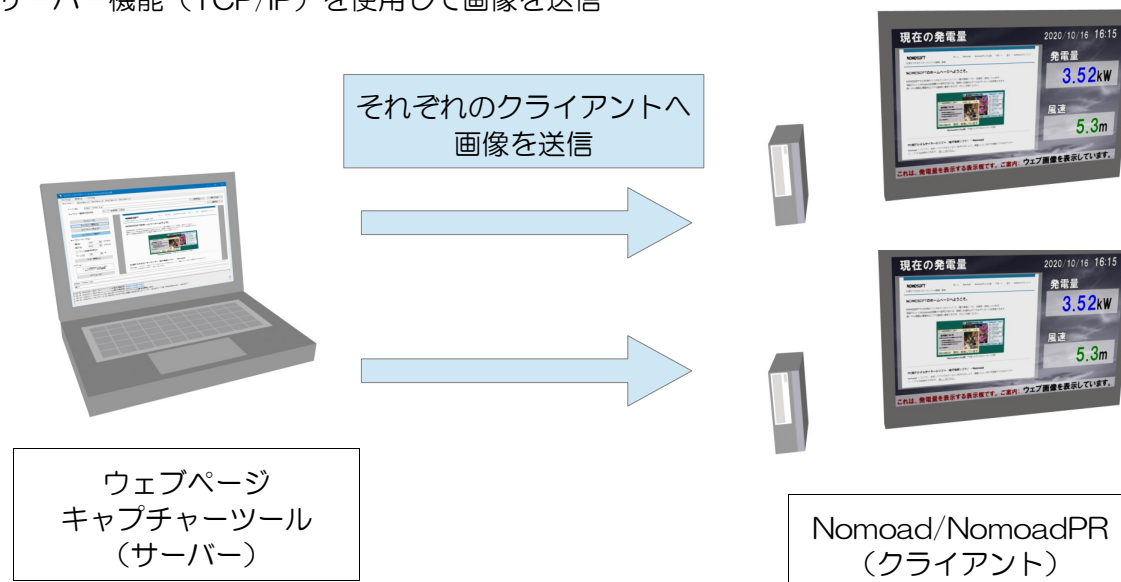
キャプチャーされた画像は下記の方法によって送信されます。

- ファイルを介して画像を送信



※スタンドアロン構成（ウェブページキャプチャーツールと Nomoad/NomoadPR を同じ PC で使用する）でも使用できます。

- サーバー機能（TCP/IP）を使用して画像を送信



※スタンドアロン構成（ウェブページキャプチャーツールと Nomoad/NomoadPR を同じ PC で使用する）でも使用できます。

注意 サーバー機能を使用する場合は、使用するポートが利用できるようにファイアウォール等の設定を行ってください。

ウェブページキャプチャーツールの使用方法

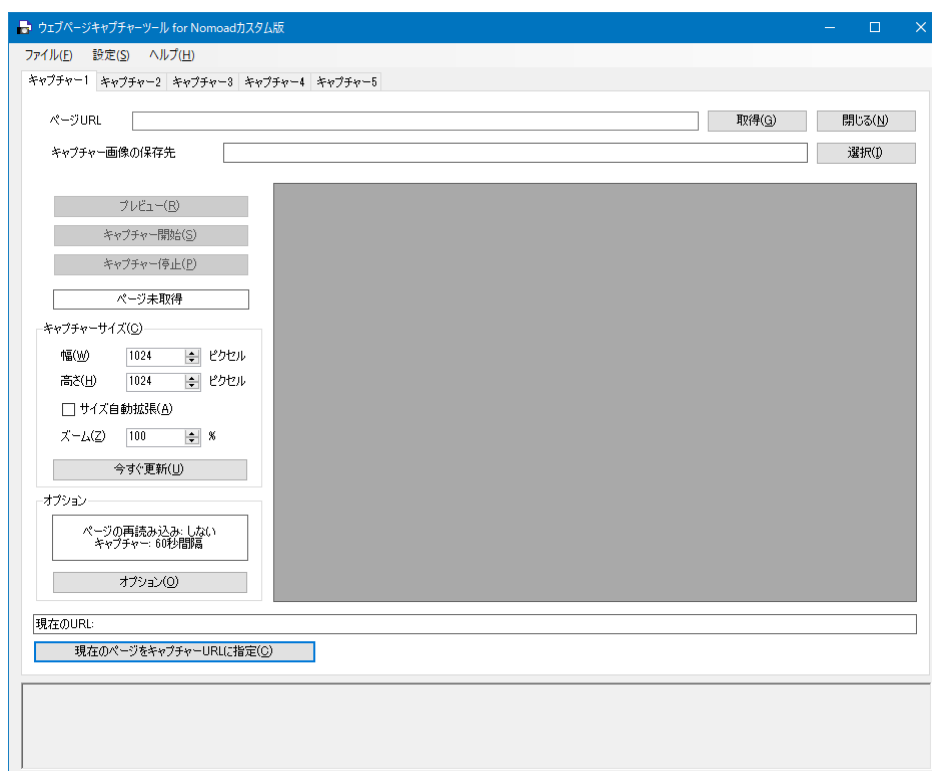
「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を起動し、Nomoad/NomoadPR でウェブページのキャプチャー画像を表示する準備を行います。

ここでは、例として1つのウェブページをキャプチャーし、Nomoad/NomoadPR に表示するための設定を行います。

ソフトの起動

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を起動するには、Windows のスタートメニューから「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」をクリックします。

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」が起動します。

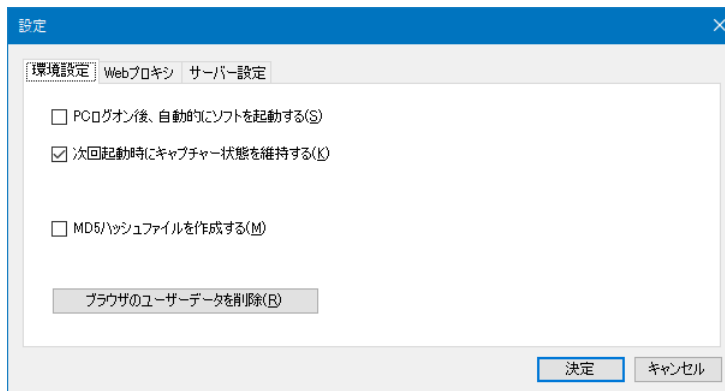


※「設定」ウインドウで「PC ログオン後、自動的にソフトを起動する」が選択されている場合は、PCへログオン後に自動的に「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」が起動します。（P25「設定ウインドウ」をご覧ください）

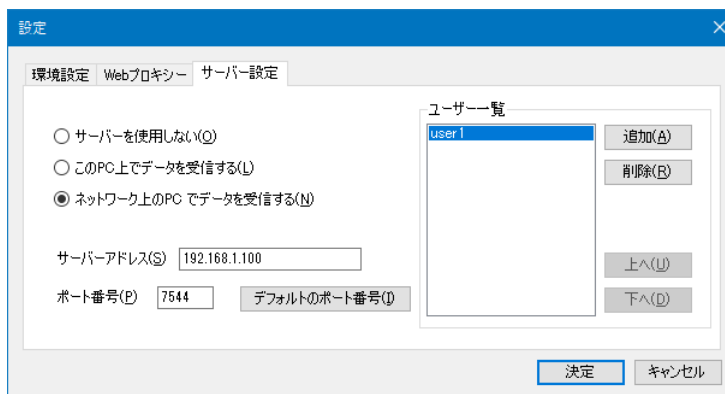
初期設定

「ウェブページキャプチャツール for Nomoad カスタム版」の初期設定を行います。

1. メニューから「設定」→「設定」をクリックします。
2. 「設定」ウインドウの「環境設定」タブをクリックし、各設定を行います。詳細はP25「設定ウインドウ」をご覧ください。



3. サーバー機能を使用してキャプチャー画像の送信を行う場合は、「設定」ウインドウの「サーバー設定」タブで各設定を行います。



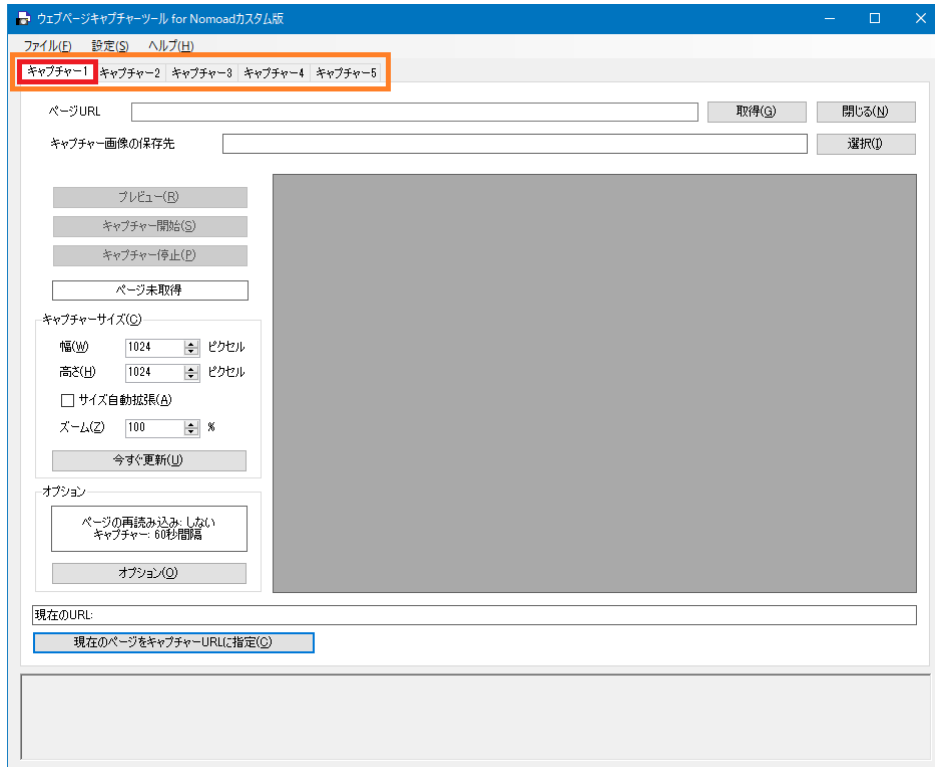
サーバーとして使用するためのサーバーアドレスやNomoad/NomoadPRからの認証に使用するユーザー設定を行います。詳しくはP25「設定ウインドウ」をご覧ください。

3. 「決定」をクリックします。

キャプチャーの選択

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」では最大5つまでのウェブページをキャプチャーできます。

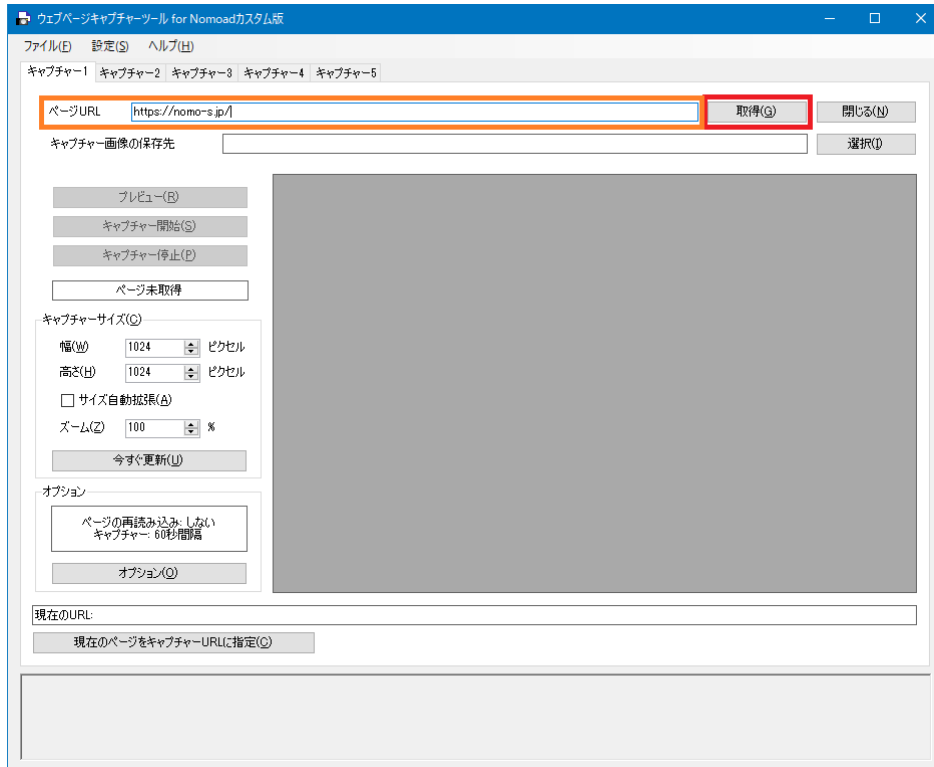
キャプチャー1～キャプチャー5のうち、ここではキャプチャー1を選択します。



ページ URL の設定

キャプチャーするページの URL を設定します。

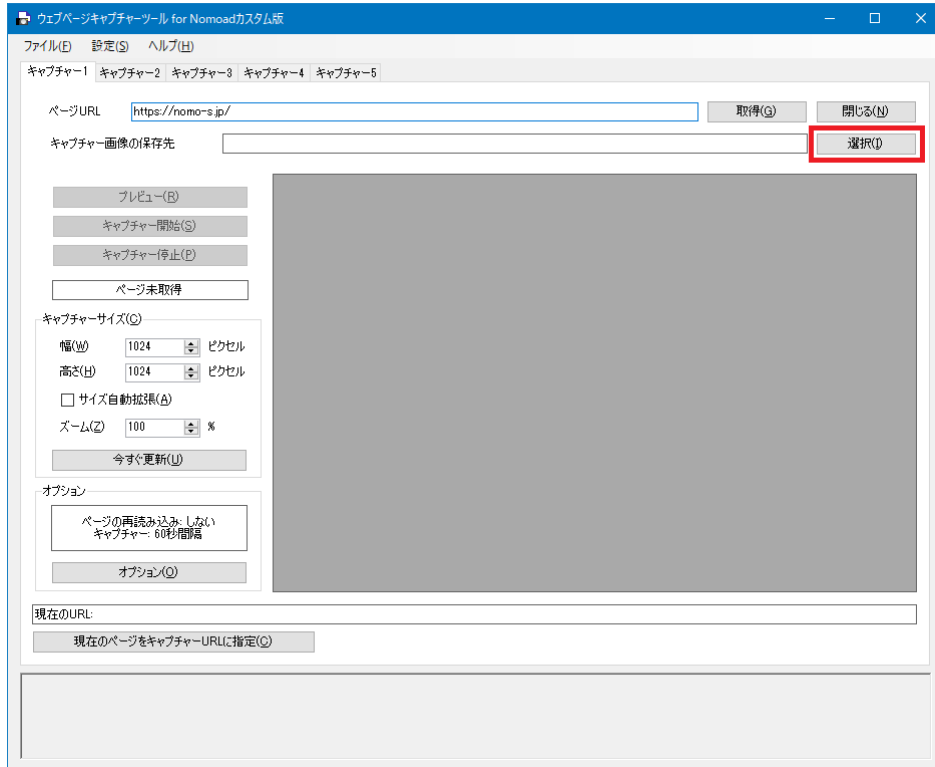
「ページ URL」の欄に URL を記入し、「取得」ボタンをクリックします。



※次に説明するキャプチャー画像の保存先を設定していないときはこの時点ではページの読み込みは行われません。

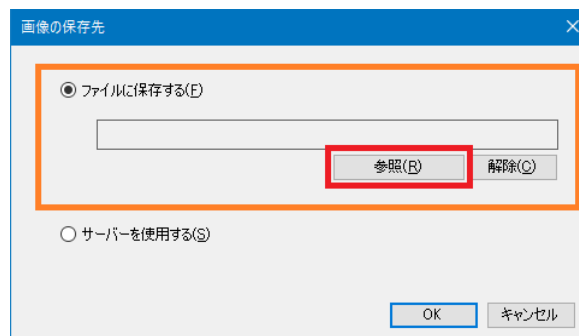
キャプチャー画像の保存先の設定

キャプチャー画像の保存先を選択します。「キャプチャー画像の保存先」欄の「選択」ボタンをクリックします。

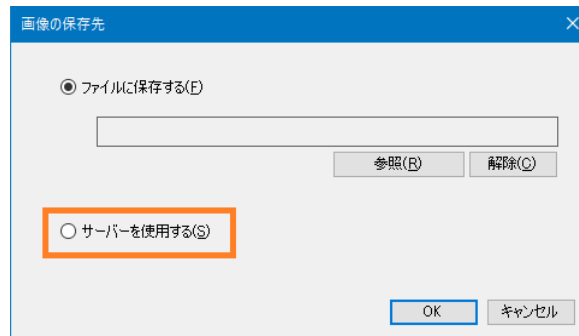


「画像の保存先」ウィンドウが表示されます。

ファイルを介してキャプチャー画像を送信するときは、「ファイルに保存する」を選択し、「参照」をクリックし、ファイルの保存先、ファイル名を設定します。



サーバー機能を使用してキャプチャー画像を送信するときは、「サーバーを使用する」を選択します。

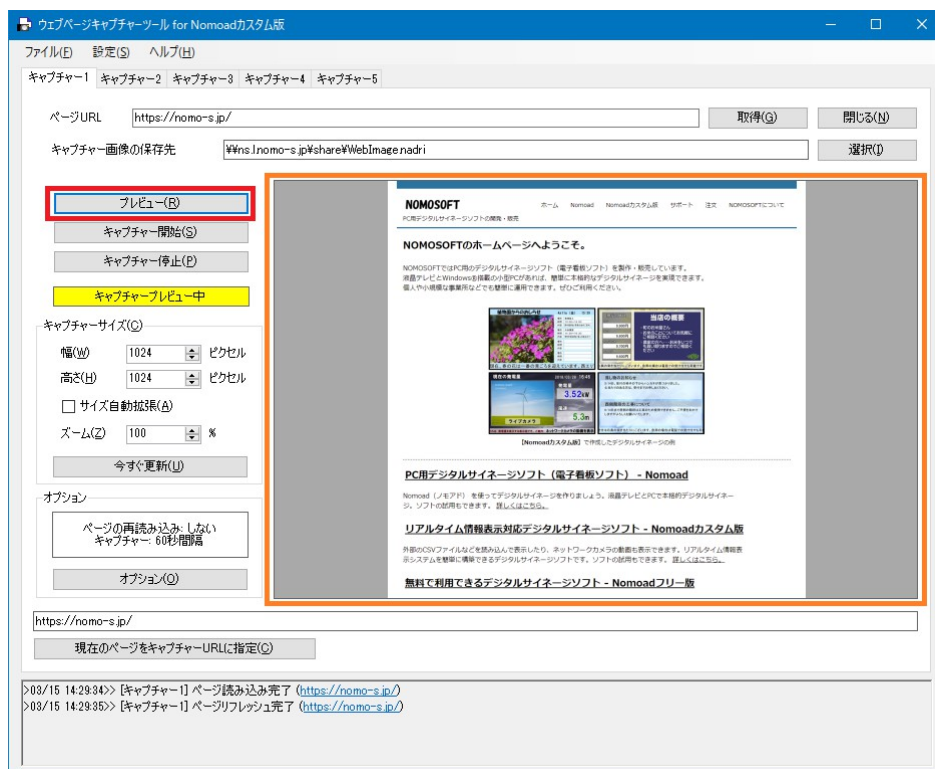


「OK」ボタンをクリックし、ウィンドウを閉じます。

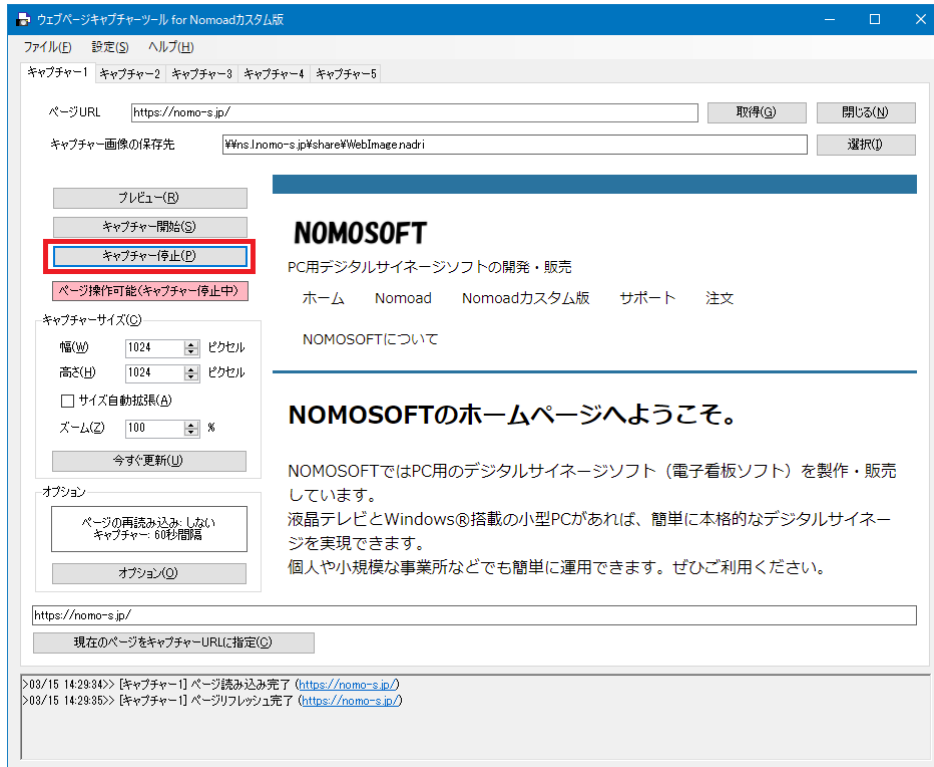
キャプチャー画像のプレビュー・ウェブページの操作

この時点でキャプチャー画像のプレビューを行ったり、ウェブページの操作が可能です。

「プレビュー」ボタンをクリックすることによりキャプチャー画像のプレビューを行うことができます。



プレビューを中止するときは「キャプチャー停止」ボタンをクリックします。

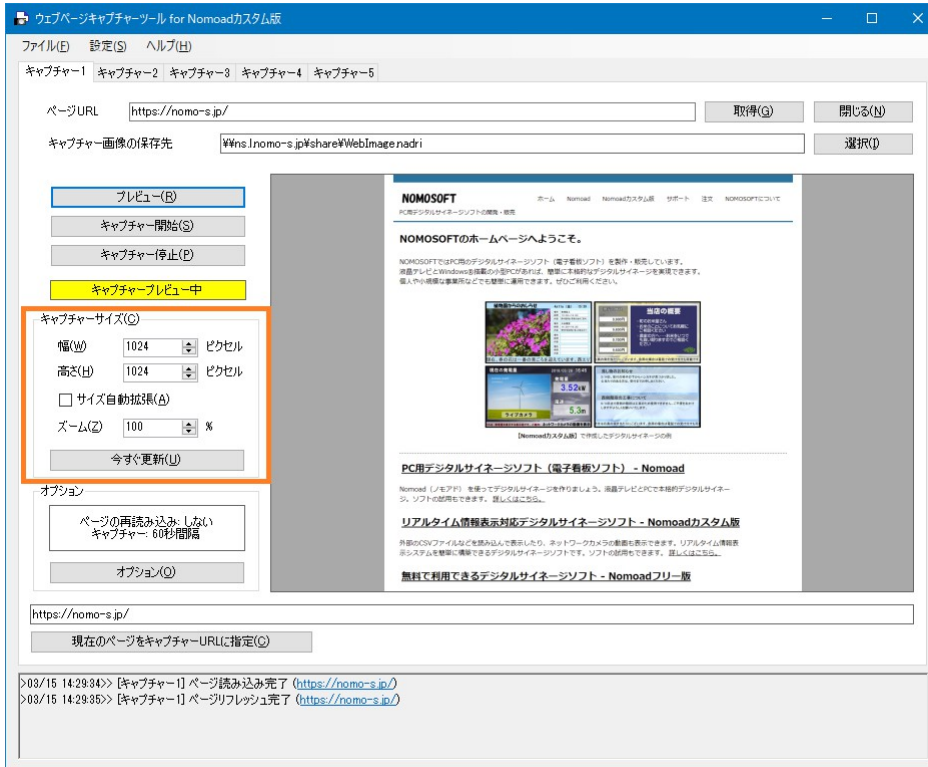


キャプチャー停止中はウェブページの操作が可能です。

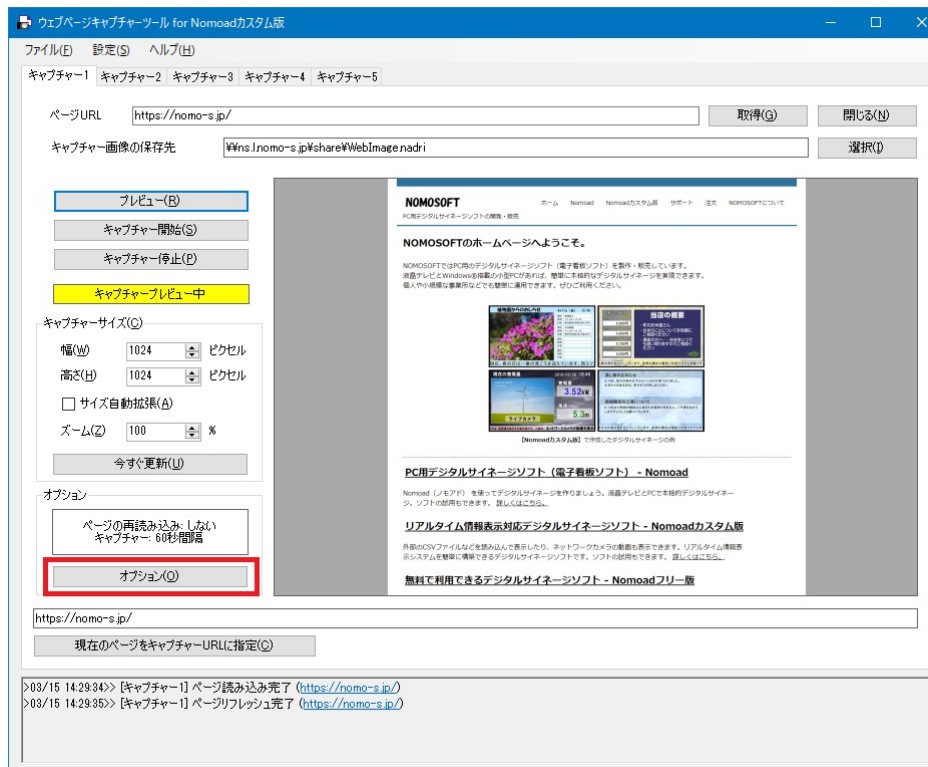
キャプチャーサイズ・オプションの設定

キャプチャー画像のプレビューを行いながらキャプチャー画像のサイズやキャプチャー間隔などの設定を行います。

キャプチャー画像のサイズを設定するには「キャプチャーサイズ」を設定します。



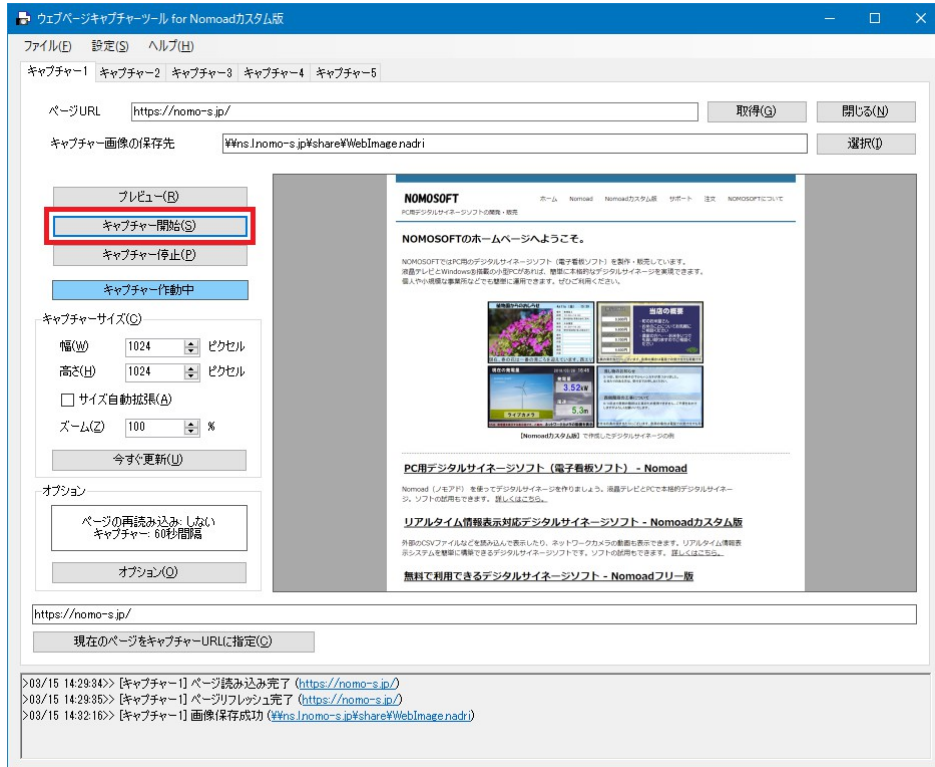
キャプチャー間隔やウェブページの再読み込みの間隔を設定したときは、「オプション」ボタンをクリックします。詳細はP24「オプションウィンドウ」をご覧ください。



キャプチャー開始

各設定を終えたらキャプチャーを開始します。

「キャプチャー開始」ボタンをクリックします。



キャプチャー動作が開始し、Nomoad/NomoadPRへキャプチャー画像の送信準備が行われます。

ファイルを介して画像を受信する

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を使用してキャプチャーしたウェブページ画像を、ファイルを介してNomoad/NomoadPRで受信するための設定を行います。

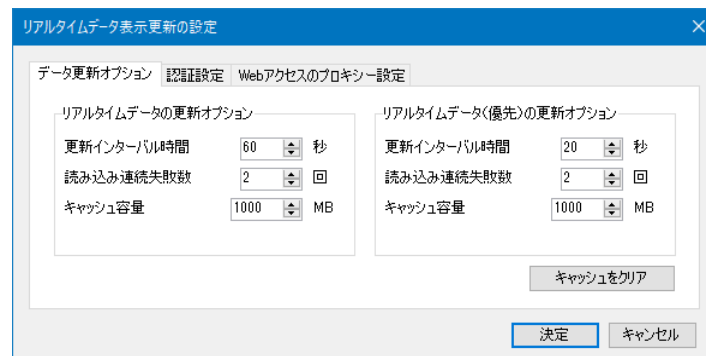
この機能は、Nomoad/NomoadPRのカスタム機能「リアルタイムデータ（メディアファイル）」を使用します。

ファイルを介して受信するためのNomoad/NomoadPRの設定

ファイルを介してウェブページ画像を受信する場合は、必要に応じてNomoad/NomoadPRでそれぞれ設定を行います。

- Nomoadの場合、メニューから「ツール」→「リアルタイム表示更新設定」をクリックし、「データ更新オプション」を設定します。
- NomoadPRの場合、メニューから「設定」→「リアルタイム表示更新設定」をクリックし、「データ更新オプション」を設定します。

必要に応じてファイルの読み込みインターバルなどの設定を行います。詳しくはカスタム機能説明書「カスタム機能説明書_リアルタイムデータ（メディアファイル）.pdf」をご覧ください。



ファイルを介して受信するためのリアルタイムデータタグの記述

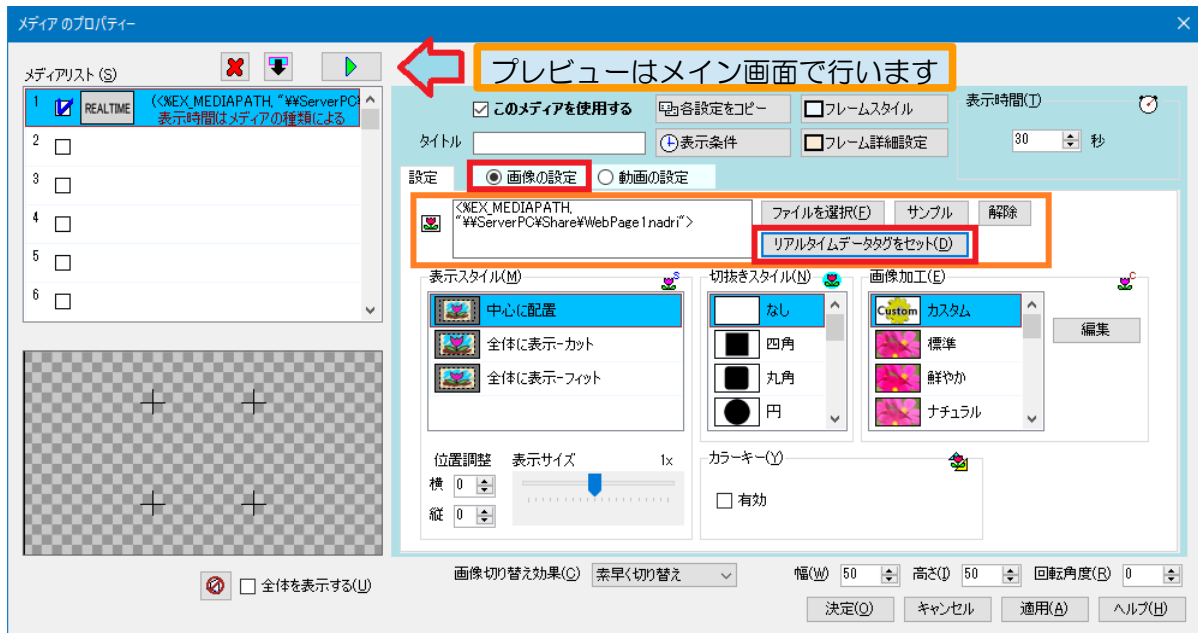
ファイルを介してウェブページ画像を受信するためのデータタグをNomoadで記述します。

「メディア部品」のプロパティ内にデータタグ記述します。

• 記述例

タグの記述例1： `<%EX_MEDIAPATH, "¥¥ServerPC¥Share¥WebPage1.nadri" >`

共有フォルダ上の画像「¥¥ServerPC¥Share¥WebPage1.nadri」を指定しています。



データタグを設定後、「画像の設定」を選択し、各設定を行います。「動画の設定」は使用しません。
詳しい記述方法はカスタム機能説明書「カスタム機能説明書_リアルタイムデータ（メディアファイル）.pdf」をご覧ください。

サーバーから画像を受信する

「ウェブページキャプチャツール for Nomoad カスタム版」のサーバー機能を使用して、キャプチャーされたウェブページ画像をNomoad/NomoadPRで受信するための設定を行います。

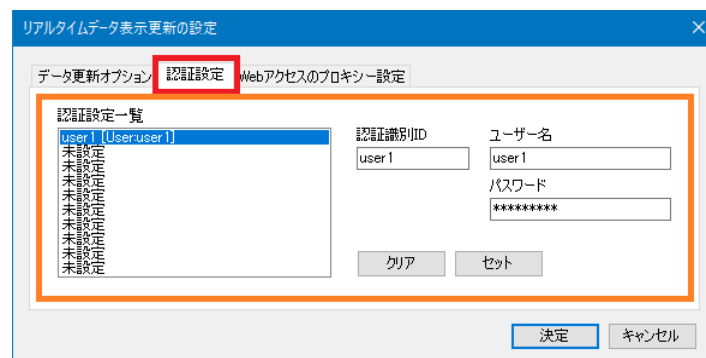
ネットワーク上のサーバーから受信するためのNomoad/NomoadPRの設定

「ウェブページキャプチャツール for Nomoad カスタム版」のサーバー機能を使用して、ネットワーク上のサーバーからウェブページ画像を受信する場合は、必要に応じてNomoad/NomoadPRでそれぞれ「認証設定」を行います。

- Nomoadの場合、メニューから「ツール」→「リアルタイム表示更新設定」をクリックし、「データ更新オプション」を設定します。
- NomoadPRの場合、メニューから「設定」→「リアルタイム表示更新設定」をクリックし、「データ更新オプション」を設定します。

サーバーへの接続のための「認証設定」を行います。

「認証識別ID」、「ユーザー名」、「パスワード」を任意の場所に設定します。



- 「認証識別ID」に設定したIDはデータタグに記述します。P17「サーバーから受信するためのリアルタイムデータタグの記述」をご覧ください。
- 「ユーザー名」、「パスワード」は、「ウェブページキャプチャツール for Nomoad カスタム版」の設定画面で設定したユーザー名とパスワードを設定します。（P25「設定ウィンドウ」をご覧ください）

サーバーから受信するためのリアルタイムデータタグの記述

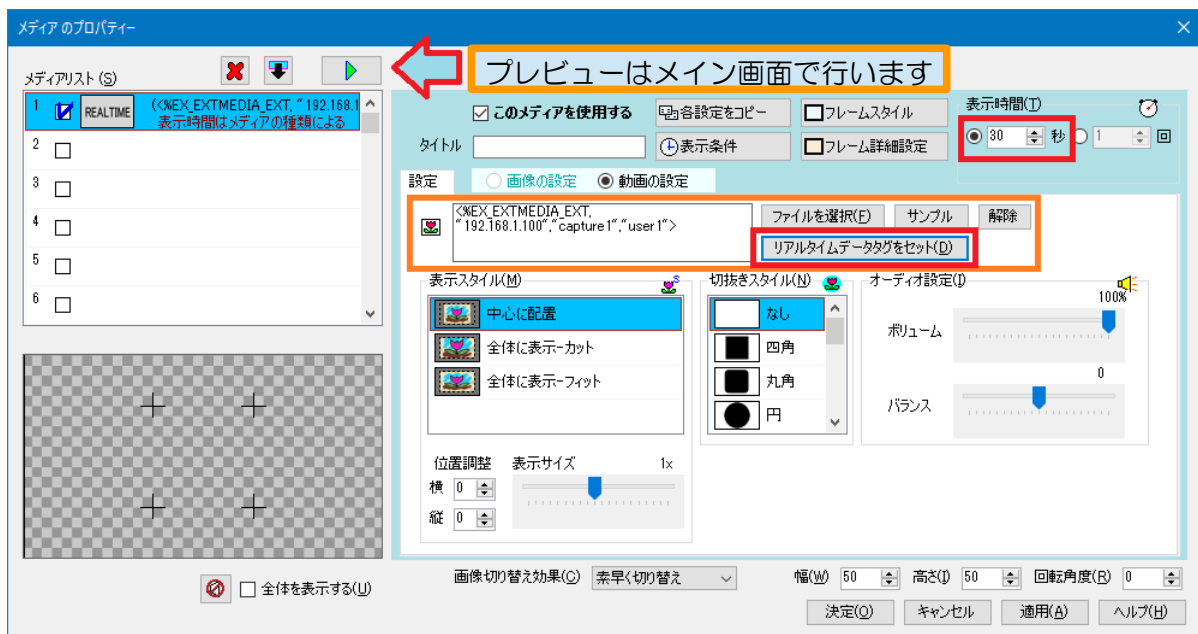
サーバーからウェブページ画像を受信するためのデータタグをNomoadで記述します。

「メディア部品」のプロパティ内にデータタグ記述します。

・記述例

タグの記述例： `<%EX_EXTMEDIA_EXT, "192.168.1.100", "capture1", "user1">`

ネットワーク上のサーバー「192.168.1.100」に接続し、「キャプチャー1」でキャプチャーした画像を受信するように指定しています。認証のために認証識別IDは「user1」を指定します。



「リアルタイムデータタグをセット」ボタンをクリックし、データタグを設定後、プロパティの各設定を行います。

「表示時間」は回数ではなく、時間（秒）を指定してください。回数を指定した場合、表示時間が無限大となり、次の項目に表示が切り替わりません。

ネットワーク上のほかのPC上のサーバーから受信する場合

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」の「設定」ウインドウの「サーバー設定」タブ（P25「設定ウインドウ」をご覧ください）で「ネットワーク上のPCでデータを受信する」を選択している場合は、下記のデータタグを使用します。

<code><%EX_EXTMEDIA_EXT, "サーバーIPアドレス or ホスト名 [ポート番号]", "ソース名", "認証識別ID"></code>			
①	②	③	④

①データタグのヘッダー

ネットワーク上のサーバーからデータを受信するための記述です。

②サーバーのIPアドレスまたはホスト名、オプションとしてポート番号

サーバーのIPアドレスまたはホスト名を記述します。オプションとしてポート番号を「:」（コロン）の後に記述できます。

ポート番号を記述しない場合は、デフォルトのポート番号「7544」が指定されます。サーバーのポート番号は「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」の「設定」ウインドウの「サーバー設定」タブで設定できます。

例： **"192.168.1.100"**（IPアドレスを指定。ポート番号はデフォルトの7544となります）

例： **"192.168.1.100:12345"**（IPアドレスとポート番号を指定。ポート番号は12345）

例： **"webcapture.example.net"**（ホスト名を指定。ポート番号はデフォルトの7544となります）

例： **"webcapture.example.net:12345"**（ホスト名とポート番号を指定。ポート番号は12345）

③ソース名

ソース名を記述します。「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」のサーバー機能を使用する場合は、キャプチャー番号「**capture1**」～「**capture5**」のいずれかを記述します。

例： **"capture1"**（キャプチャー番号1のキャプチャー画像を受信します）

④認証識別ID

サーバーに接続するための認証識別IDを記述します。認証識別IDは、Nomoad、NomoadPRでパソコンごとに別途設定を行います。P16「ネットワーク上のサーバーから受信するためのNomoad/NomoadPRの設定」を参照してください。

例： **"user1"**（認証識別ID「user1」で指定したユーザー名、パスワードで接続します）

タグの記述例 1： **<%EX_EXTMEDIA_EXT, "192.168.1.100", "capture1", "user1">**

ネットワーク上のサーバー「192.168.1.100」に接続し、「キャプチャー1」でキャプチャーした画像を受信するように指定しています。認証のために認証識別 ID は「user1」を指定します。サーバーに接続するポート番号はデフォルトの「7544」となります。

タグの記述例 2： **<%EX_EXTMEDIA_EXT, "192.168.1.100:12345", "capture3", "user2">**

ネットワーク上のサーバー「192.168.1.100」に接続し、「キャプチャー3」でキャプチャーした画像を受信するように指定しています。認証のために認証識別 ID は「user2」を指定します。サーバーに接続するポート番号は「12345」が指定されています。

Nomoad/NomoadPR を使用する PC と同じ PC 上で実行しているサーバーから受信する場合（スタンドアロン構成）

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」の「設定」ウインドウの「サーバー設定」タブ（P25「設定ウインドウ」をご覧ください）で「この PC 上でデータを受信する」を選択している場合（スタンドアロン構成）は、下記のデータタグを使用します。

<u><%EX_EXTMEDIA, "ポート番号", "ソース名"></u>		
①	②	③

①データタグのヘッダー

Nomoad/NomoadPR を実行している PC と同じ PC で実行しているサーバーからデータを受信するための記述です。

②ポート番号

サーバーに接続するためのポート番号を記述します。省略した場合はデフォルトのポート番号「7544」となります。

例： **"12345"**（ポート番号 12345 でサーバーに接続します）

③ソース名

ソース名を記述します。「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」のサーバー機能を使用する場合は、キャプチャー番号「**capture1**」～「**capture5**」のいずれか記述します。

例： **"capture1"**（キャプチャー番号 1 のキャプチャー画像を受信します）

タグの記述例 1： **<%EX_EXTMEDIA, "", "capture1">**

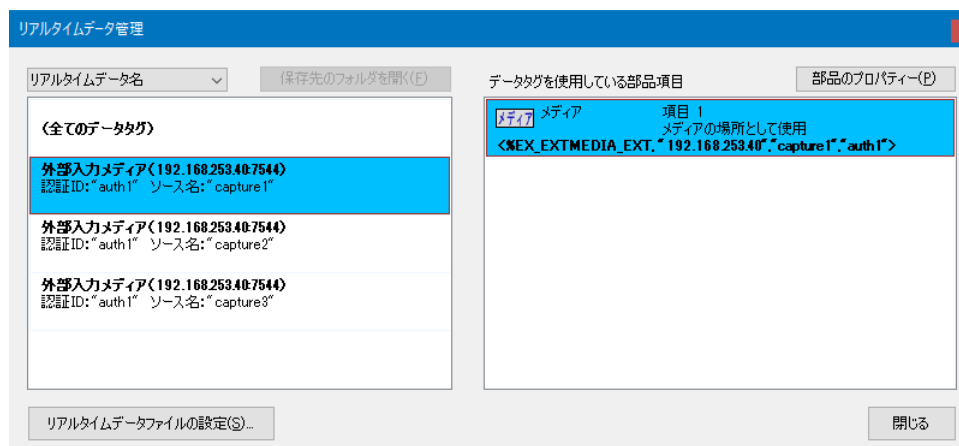
Nomoad/NomoadPR を実行している PC 上のサーバーへ接続し、「キャプチャー 1」でキャプチャーした画像を受信するように指定しています。サーバーに接続するポート番号はデフォルトの「7544」となります。

タグの記述例 2： **<%EX_EXTMEDIA, "12345", "capture3">**

Nomoad/NomoadPR を実行している PC 上のサーバーへ接続し、「キャプチャー 3」でキャプチャーした画像を受信するように指定しています。サーバーに接続するポート番号は「12345」が指定されています。

リアルタイムデータタグの確認/受信ログの表示

Nomoadでメディア部品のプロパティへ正しくデータタグを設定できたときは、「リアルタイムデータ管理」ウィンドウ内にデータタグの情報が表示されます。

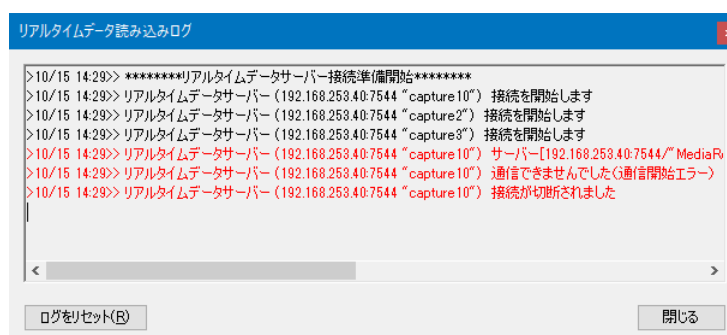


「リアルタイムデータ管理」ウィンドウを表示するにはNomoadのメニューバーから「表示」→「リアルタイムデータ管理ウィンドウ」を選択します。

また、Nomoad/NomoadPRではリアルタイムデータの取得状態をログで確認できます。

- Nomoadの場合はメニューから「表示」→「リアルタイムデータ読み込みログ」
- NomoadPRの場合は、メニューから「プレゼンテーション」→「リアルタイムデータ読み込みログ」

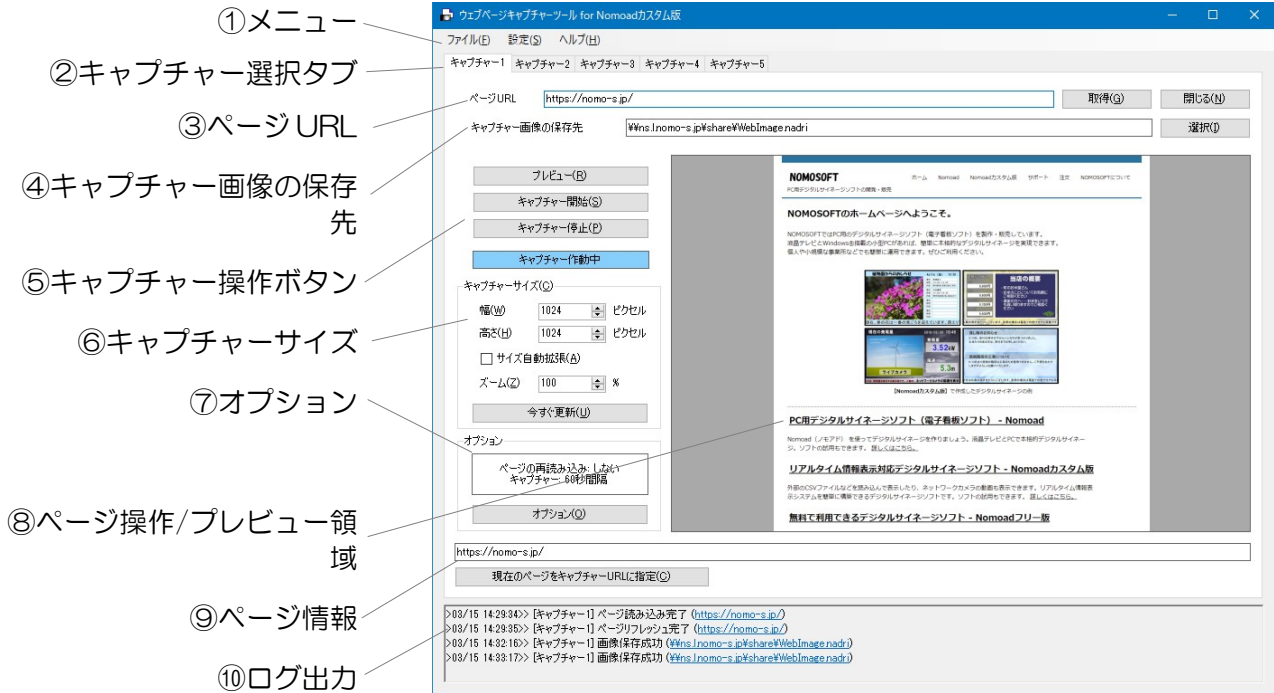
をクリックします。



画面の説明

各画面の説明を行います。

メイン画面



①メニュー

メニュー内容		説明	参照ページ
ファイル	アプリケーションの終了	「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を終了します。	-
設定	設定	設定ウィンドウを開きます。	P25
ヘルプ	取扱説明書を開く	取扱説明書を開きます。	-
	バージョン情報	バージョン情報ウィンドウを開きます。	-

②キャプチャー選択タブ

操作するキャプチャーを選択します。

③ページ URL

キャプチャーするウェブページの URL を指定します。URL を記入後、「取得」ボタンをクリックします。URL を解除する場合は、「閉じる」ボタンをクリックします。

④キャプチャー画像の保存先

キャプチャーされた画像の保存先を指定します。「選択」ボタンを押し、ファイルへの保存とサーバー機能を使用した送信のどちらかを選択します。

⑤キャプチャー操作ボタン

キャプチャーを操作するためのボタンです。

- ・「プレビュー」ボタン… キャプチャー画像のプレビューを行います。
- ・「キャプチャー開始」ボタン… キャプチャーを開始します。
- ・「キャプチャー停止」ボタン… キャプチャーを停止します。この状態のときは、ウェブページを操作できます。

⑥キャプチャーサイズ

キャプチャー画像のサイズ、ウェブページの拡大率を設定します。「サイズ自動拡張」を選択すると、設定した幅または高さを無視して、ページが収まるように自動的にキャプチャーサイズが拡張されます。

⑦オプション

キャプチャー間隔やページの再読み込み間隔などのオプションを設定します。P24「オプションウインドウ」をご覧ください。

⑧ページ操作/プレビュー領域

キャプチャー停止状態のときはウェブページの操作を行います。プレビュー/キャプチャー作動中のときは、キャプチャー画像を表示します。

⑨ページ情報

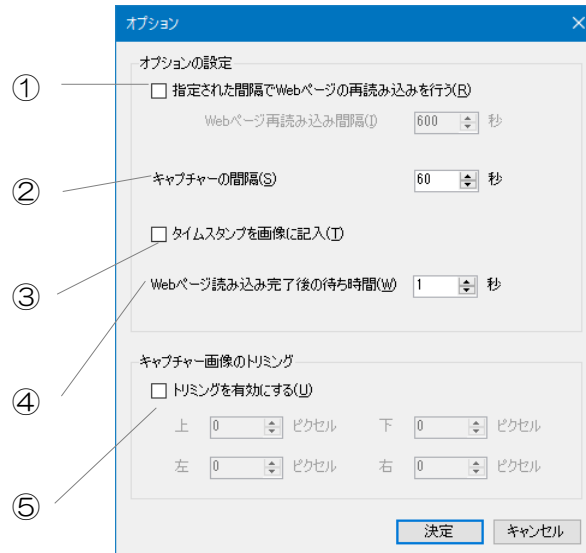
読み込まれているページのアドレスや状態を表示します。「現在のページをキャプチャーURLに指定」ボタンをクリックすると、現在表示しているページのアドレスを上記「ページURL」にセットします。

⑩ログ出力

キャプチャーの状態やサーバーとの通信状態が表示されます。

オプションウィンドウ

キャプチャー1～5のそれぞれにオプションを設定できます。メインウィンドウの「オプション」ボタンでオプションウィンドウを表示します。



① 「指定された間隔でWebページの再読み込みを行う」

キャプチャー中に、一定間隔でウェブページの再読み込み（更新）を行います。間隔を5～3600秒の間で指定できます。

注意 再読み込みの間隔が短すぎる場合、ウェブサーバーやネットワークに大きな負荷がかかる場合がありますのでご注意ください。

② 「キャプチャーの間隔」

ウェブページのキャプチャー間隔を2～600秒の間で指定します。

③ 「タイムスタンプを画像に記入」

キャプチャー画像の右下へキャプチャー日時を記入します。

④ 「Webページ読み込み完了後の待ち時間」

ウェブページの読み込みを完了後、キャプチャー開始までの待ち時間を0～5秒の間で設定します。ウェブページによってはウェブページの読み込み完了後、ウェブページの表示に時間がかかる場合があります。その場合は待ち時間を長めに設定します。

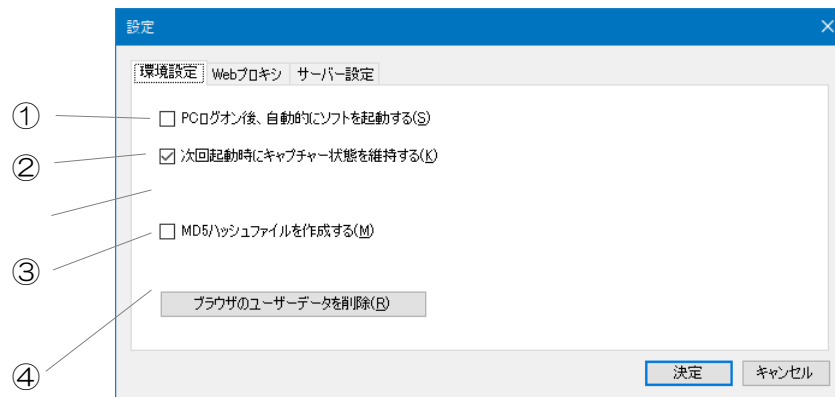
⑤ 「キャプチャー画像のトリミング」

キャプチャー画像のトリミングを行いたいときに設定を行います。

設定ウィンドウ

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」の動作についての設定を行います。メニューの「設定」→「設定」をクリックし、設定ウィンドウを表示します。

・「環境設定」タブ



① 「PC ログオン後、自動的にソフトを起動する」

PCにログオン後、自動的に「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を起動します。

② 「次回起動時にキャプチャ状態を維持する」

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」を次回起動したとき、ソフト終了時のキャプチャ状態（キャプチャ開始しているかどうか）を維持するかどうかを設定します。

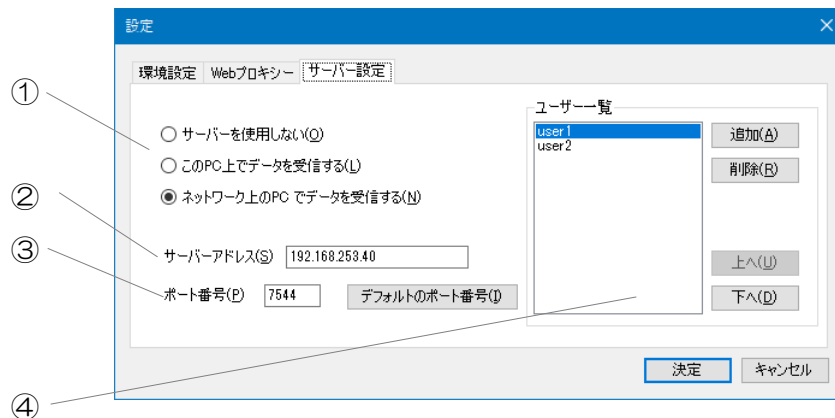
③ 「MD5 ハッシュファイルを作成する」

キャプチャ画像をファイルに保存する際、MD5 ハッシュファイルを同時に作成します。この設定は通常使用しません。

④ 「ブラウザのユーザーデータを削除」

「ウェブページキャプチャーツール for Nomoad カスタム版」で表示したウェブページに関するユーザーデータ（キャッシュ、クッキー、パスワードなど）を全て削除します。

・「サーバー設定」タブ



①サーバー機能の使用設定

サーバー機能（TCP/IP）を使用して画像を送信する場合に設定します。

- ・「サーバーを使用しない」… サーバー機能を使用しないときに選択します。
- ・「このPCでデータを受信する」… サーバー機能を使用してスタンドアロン構成でキャプチャー画像の送受信を行う時に選択します。サーバーの「ポート番号」を指定できます。
Nomoad/NomoadPR で使用するリアルタイムデータタグは、`<%EX_EXTMEDIA, ...>` を使用します（P20を参照してください）。また、「ユーザー一覧」でユーザー名/パスワードの設定は不要です。
- ・「ネットワーク上PCでデータを受信する」… サーバー機能を使用してネットワーク上のPCへキャプチャー画像を送信する場合に選択します。「サーバーアドレス」と「ポート番号」を指定できます。
Nomoad/NomoadPR で使用するリアルタイムデータタグは、`<%EX_EXTMEDIA_EXT, ...>` を使用します（P18を参照してください）。「ユーザー一覧」でユーザー名/パスワードの設定が必要です。

②「サーバーアドレス」

上記サーバー機能の使用設定で「ネットワーク上のPCでデータを受信する」を選択した場合に設定します。ソフトを実行しているPCのIPアドレスまたはホスト名をセットします。

③「ポート番号」

上記サーバー機能の使用設定で「このPCでデータを受信する」「ネットワーク上のPCでデータを受信する」を選択した場合に設定します。サーバーで使用するポート番号を指定します。「デフォルトのポート番号」をクリックすると、デフォルトのポート番号「7544」が設定されます。

注意 同じサーバーアドレスを使用しているサーバーが複数存在する場合、ポート番号が重複しないようにご注意ください。

④「ユーザー一覧」

Nomoad/NomoadPR からサーバーに接続するためのユーザー名/パスワードを設定します。

●Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

R2 ©2024 NOMOSOFT

2024/8/28